

草の根技術協力（草の根協力支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ウガンダ共和国
2. 案件名	生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業
3. 事業の背景と必要性	ウガンダでは生理について言及することがタブーという文化的背景があり、青年期の男女が学校や家庭で生理について教わらず、月経に関する正しい知識、衛生・性教育が不足している。教員による生理の問題に対処する能力の欠如、また多くの学校に女子トイレ、汚れた衣類を洗う洗面所、着替えの場所などの設備が不足していることも課題である。さらに地域全体で女子の教育が軽視される傾向があり、貧困家庭では保護者が生理用品を提供できず、多くの女子生徒が生理中に学校を欠席または退学している。また一般的に、使い捨ての生理用ナプキンを購入できない女性の多くは、何度も使用できる生理用布ナプキンの存在自体を知らない。貧困家庭の女子が学校を退学すると、児童労働・性産業への従事、若年の結婚・妊娠などに陥ってしまう可能性が高まる。女子が将来、社会的・経済的に脆弱な立場に陥らないためにも、生理中も安心して学校に通学し、基礎教育を完了できる環境をつくる必要がある。
4. プロジェクト目標	対象校の女子生徒が生理期間中でも安心して通学できるようになる。
5. 対象地域	ムベンデ県(チバリンガ、ナビンゴラ、チガンド) ブタンバラ県(ゴンベ自治区、プロ、ンガンド) ワキソ県(ナンサナ自治区のナフェル区、ゴンベ区)
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象校：小学校 30 校（ムベンデ県：10 校、ブタンバラ県：10 校、ワキソ県：10 校） ・対象生徒：初等学校 4-7 年生、10-17 歳 ・対象者：4,310 名（生徒 3,000 名、教員 60 名、地域住民 1,200 名、Happy-Pad プロモーションセンターでのトレーニング受講者 50 名）
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> 1：学校施設の整備が改善し・その状態が維持される。 2：学校における生徒・教員の月経時の衛生管理能力が向上する。 3：地域住民、保護者および行政による女子教育と月経時のサポートへの意識が向上する。 4:Happy-Pad プロモーションセンターが生理用布ナプキンの普及および作成技術を与える場所となる。 5：教育スポーツ省が月経の衛生管理、性教育、ジェンダー平等の啓発を学校の基礎教育として導入することを前向きに考える。 6：生徒や子ども達が COVID19 の SOP（新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針）を遵守する。 <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 0：ベースライン調査 1：学校設備の改善

	<p>2：学校における生徒・教員の月経時の衛生管理能力向上</p> <p>3：地域全体での意識改革</p> <p>4：生理用布ナプキンの Happy-Pad プロモーションセンターの運営</p> <p>5：政府機関への働きかけ</p> <p>6：コロナ禍における追加活動（水タンクの設置、SOPs と布マスクづくりの指導）</p>
8. 実施期間	2021年 11月～ 2024年 6月（ 2年 8ヵ月）
9. 事業費概算額	11,827,530 円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	<p>現地カウンターパートは SORAK Development Agency。</p> <p>実施団体からはプロジェクトマネージャー、現地・国内調整員、会計担当が従事予定。現地カウンターパートからはプロジェクトオフィサー等 11 名が従事予定（うち 7 名分の人件費を計上）。</p>
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	特定非営利活動法人 Global Bridge Network
2. 主な活動内容	ウガンダ共和国にて、2017～2019 年に「生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業」、「レモンガラスの栽培拡大と環境教育による環境保全事業」を実施。